

肥満児とその家族への対処

茨城県の現状とメタボ予防のプライマリ・ケア

平野 千秋 先生

きぬ医師会病院（小児生活習慣病予防外来）医師

平成26年2月18日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

茨城県の児童生徒における肥満出現率は全国平均よりかなり高く、心身の健康課題を抱える肥満児も多い。将来的に、肥満合併症による生活の質の低下など個人の損失のみならず、地域の活力低下や医療費への影響が懸念される。

いったん肥満になると、蓄積した体脂肪の減量にはたいへんな努力の継続を要する。したがって予防が重要である。小児の生活習慣改善には、家族や学校、地域が一体となった意識改革が不可欠である。肥満児、家族と地域の事情をよく知る医療者の存在は、小児の健康な成長と発達の支援を通して、少子化の時代に地域の活力を維持する要となる。

最初に、茨城県の現状と、茨城県学校保健会肥満対策委員会の活動を紹介する。次に、幼児・学童の身体評価、紹介のタイミング、そして紹介先である当外来の取り組みを紹介する。最後に、体脂肪減量に成功・失敗したケースの分析を通して、肥満予防につながるプライマリ・ケアの視点を考察する。

今回の勉強会では、きぬ医師会病院 平野千秋先生に「肥満児とその家族への対処 — 茨城県の現状とメタボ予防のプライマリ・ケア —」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、講演場所は筑波大学総合研究棟Dとなっております。防犯の関係上19：00以降正面入口がロックされ入館できなくなります。19：00以降はスタッフができるだけ対応をいたしますが、19：00までにお越し下さるようお願いいたします。この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）となっております。

柳 久 子
TEL&FAX : 029-853-3496